

その後、こども記者からは、「紛争や差別で悲しんでいる人がいる中で日本はどのように関わっていくことができますか」「小学生でもできるSDGsは何ですか」「外務大臣政務官という仕事をする上で最も大切にしていることは何ですか」「外交官になるためには何を学ぶ必要がありますか」など、さまざまな質問が寄せられました。鈴木政務官は、具体的な体験談なども交えながら、「外国の人と仕事をするときは、自分が与える印象が日本という国の印象になるので、責任が重大。文化や考え方の違いを踏まえて徹底的に考えることが大切」「外交官になるためというのとはもとより、広い意味で立派な人間になることを目指してほしい」など、一問一問丁寧に回答し、和やかな記者会見になりました。

さかなクンと一緒に学んでみよう！ 海とお魚とSDGs（8月19日）

「海とさかなの親善大使」のさかなクン（東京海洋大学客員准教授）が登場し、豊かな海を守るための国際協力やSDGs、セネガルにおける国際協力機構（JICA）の水産資源を守る活動について、タコつぼ漁や牡蠣の養殖技術など、具体的な例を挙げながら説明した後、子どもたちからの質問に答えました。「地球温暖化の影響で魚の旬は変わっているの？」「生まれ変わるとしたら、どの魚になりたいですか」「海洋プラスチック問題で魚に何か変化はありますか」などの質問に対し、さかなクンは、イラストを描きながら、一問一問わかりやすく答えました。



海とお魚とSDGsについて話をするさかなクン

初のオンライン 「こども霞が関見学デー」開催！

2021年8月18・19日の両日、外務省においてオンラインによる「こども霞が関見学デー」が開催されました。このイベントは、各府省庁等が連携し、所管業務の説明や関連業務の展示等を行うことにより、夏休み期間中に子どもたちに広く社会を知ってもらうこと、政府の施策に対する理解を深めてもらうこと、活動参加を通じて親子の触れ合いを深めてもらうことを目的とした取り組みです。

外務省では、「鈴木隼人外務大臣政務官のこども記者会見」「見せちゃいます！外務省ってこんなところ」「さかなクンと一緒に学んでみよう！海とお魚とSDGs」「海外の日本大使館、総領事館から紹介します！世界の国々」「海外で日本語や日本文化を紹介！現地のお仕事をのぞいてみよう（国際交流基金）」「JICA 地球ひろばでSDGsを学ぼう！バーチャルツアー&JICA 海外協力隊の体験談を事例に（JICA 地球ひろば）」という6つのプログラムが実施されました。本年は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、初のオンラインでの開催となりましたが、多くの方の参加を得ました。

鈴木隼人外務大臣政務官の こども記者会見（8月18日・19日）



こども記者からの質問に答える鈴木政務官

2日間に各5名の小中学生のこども記者による「こども記者会見」が開かれました。

鈴木政務官は冒頭挨拶において、「コロナ禍で皆さんも思うように遊びに行けなかったり、制約のある毎日を送っていると思うが、外務省が行っている外交の仕事もコロナの影響を大きく受けている、今の外交の姿をぜひ皆さんに知ってもらい、今回のイベントが皆さんの夏休みのよい思い出になることを期待している」と述べました。